

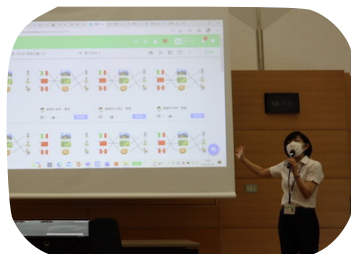
## iPadのアプリと組み合わせて活用の幅を広げる

2022年度には、全国全ての小中学校の英語の授業でデジタル教科書が活用できるようになりました。これは、文科省で進める「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」によるものです。

今回「学習者用デジタル教科書」の効果的な活用について研修会を行なってほしいという声に応えて、長野県教育委員会 南信教育事務所 学校教育課 指導主事 大槻織詠 先生に研修を行っていただきました。



①参加される先生方は事前にスクールタクトに配布された課題を行なっています。デジタル教科書の指定のページに書き込みをする課題でした。



②（小学校のリスニング）先生は、児童の解答の様子がスクールタクトで確認できるので、小学校のリスニングの評価を授業の中でできます。



③（音読）デジタル教科書では本文から音声が出るので、画面収録をして自分の音声をふきこむことで、音やリズムの違いに気付きながら、自信をもって読むことに繋げることができます。



④（聞き取り）デジタル教科書の「Preview」の場面では聞き取れた単語をスクールタクトに書き込んで、共有すると友だちのメモをヒントにしたり、班長さんのところにみんなで書き込んで考え合ったりする活動を通して、必要な情報や概要を掴めるようになっていきます。



⑤活発に質疑応答が行われました。「生徒用デジタル教科書の使い方をご紹介いただき、クラスのあの生徒が目輝かせるだろうとか、困り感を持っているあの生徒の助けになるだろうな」といった感想が寄せられました。



⑥動画の映像作成がとっても簡単にできるようになっているので、授業の中ですぐに取り組みます。子どもたちの行ってみたい国の写真をClipsに入れて紹介を自分の言葉で吹き込むことができます。ポートフォリオとして評価にも使えます。

南信教育事務所 指導主事 大槻織詠 先生の研修をもとに推進センターで編集させていただきました

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

**伝統的**  
学びを深めるICT活用

**先進的**  
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の  
学びを支える教員

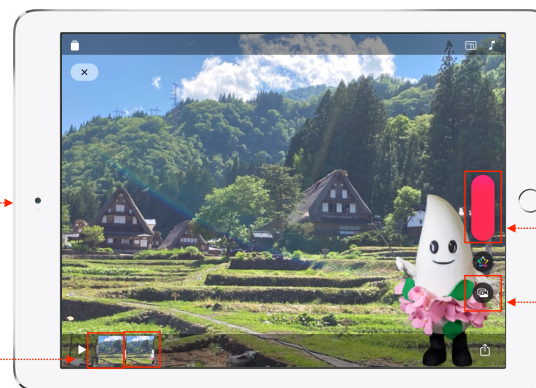
個別最適な学び・対話的学び  
創造性を育む学びの実現

## 学習者用デジタル教科書を有効活用するためのiPadアプリ



Clips

iPadのマイクの位置  
納得できるまで何度でも撮り直しができるので自然と練習量が増えます。気に入った動画を使うことができます。



細長い赤いボタンを押し続けると「静止画（デジタル教科書のスクリーンショットなど）」に音声をふきこんだり「動画（デジタル教科書の動画を再生し「画面収録」したもの）」に音声をふきこんだりすることができます。

このボタンを押して「動画」や「静止画」を読み込むことができます。

Clipsは簡単に扱うことができるアプリです。行ってみたい場所の写真をに自分の声をふきこんで動画が作れます。できあがった動画はポートフォリオとして評価に使うこともできます。発表の場面で、主体的に学習に取り組む態度を評価しようとした時に、「本当に一生懸命やっているけれども教室の前に来たらうまく喋ることができない子もいます。」そういう子にとってはClipsを使うような活動で頑張りが見られるかもしれません。また、もっとクリエイティブに活動を広げる子どもも現れるでしょう。

行ってみたい国の紹介の場面などで、どんどんと英語を吹き込む活動ができるのかと思います。そのような意味から英語での活用の可能性はますますiPadによって広がっています。



## あらゆる学びを創造的にデザインする



今回の研修会では英語の授業でのiPadのクリエイティブな活用方法について紹介していただきました。これ以外にもたくさんの方のアイデアが左に紹介するブックにはたくさん掲載されています。iPadの「ブックストア」からダウンロードして参考にしてください。